



iPadでこれからの学びをデザインする

学びの体験をデザインする

目次

イントロダクション	03
学習と指導を再考する	04

教育委員会や学校でリーダーの役割を担うみなさんにとって、今は非常に大切な時期です。同時に、この時期は自治体や学校にポジティブな変化をもたらすきっかけのときでもあります。テクノロジーを活用し、学びのあり方を再考することで、生徒の意欲が引き出され、より創造的な学習体験を生み出すことができます。これからの学びを前へ進めるため、Appleは学校の管理職や教育委員会、教師、政府機関、企業、そして保護者のみなさんと取り組み続けます。今後、学びの形がどのようなものになるとしても、教師のみなさんと生徒たちにインスピレーションを与えられるようにテクノロジーをデザインし、構築するというAppleが40年以上取り組んできた活動は続いています。

ビジョン

どの学校でも、どの教育委員会でも、教育におけるビジョンを掲げることは大切です。ビジョンとは、「変化する世界の中で、子どもたちの課題を解決する能力を育む」、「生徒がグローバル社会の一員として活躍できる人物になれるようサポートする」などのように、学びにおける意義や目標を示す指針のことです。そして同時に重要となるのが、適切なテクノロジーを取り入れることで、既存のビジョンを再考し、より良いものへと進化させることです。管理職を中心とするチームで話し合い、自治体や学校でこれからの学びを実現するための新しいビジョンを明確にし、取り入れるべきテクノロジーについて考えてみましょう。

テクノロジーを活用して指導と学習のレベルをさらに高めることは重要な取り組みです。「iPadでこれからの学びをデザインする」では、教育の現場に現在求められている変化に対応し、各学校や教育委員会のビジョンの実現に向けてAppleとともにこれからの学びをデザインする上で重点的に取り組むべき主な領域を、右に示した要素に分けて紹介します。これらの要素は、Apple製品を学習コミュニティで広く活用しているリーダーたちと話し合った結果を基に作成されたものです。みなさんの自治体や学校でも、すでに手応えを感じている領域もあれば、これから注力し、取り組む必要のある領域もあることでしょう。教育委員会の担当者や学校の管理職チームなど、教育の進むべき方向性を示すリーダーたちでこれまでの経過を振り返る際に、ぜひこれらのガイドを活用してください。



チームを作る >

さまざまな側面で計画をサポートし、地域コミュニティと連携を続けながら、円滑に取り組みを進められるように、複数の部門で構成されるチームを作ります。



キャパシティを広げる >

それぞれの人材の能力や使えるリソースを把握して、すべてのメンバーをサポートできるようにし、先を見越して学習環境におけるニーズに対応します。



コミュニティと連携する >

コミュニティの人々が、柔軟な学習環境において生徒たちを積極的にサポートするために果たせる役割を理解できるよう支援します。



学習と指導を再考する >

iPadがある学習環境に合わせて授業のあり方を再構築し、生徒たちの意欲を高め、新しい学びの達成を目指します。



テクノロジーを管理する >

iPadを中心にしたテクノロジーを導入・管理し、教育委員会や学校のビジョンをサポートする学習環境を、家庭でも学校でも実現します。



評価して成長する >

進捗を評価して管理するための目標を設定するときは、常に教育のビジョンを念頭に置いてください。目標を達成するための新しい方法を探れる機会です。



学びの体験をデザインする

学習と指導を再考する

このガイドでは、iPadがある学習環境に合わせて学びや授業のあり方を再構築し、生徒たちの意欲を高め、新しい学びを実現できるようリードするための方法を紹介します。

これからの教育では、テクノロジーを活用することで、学習者を優れた教材につなげて、協働的、創造的で、パーソナルな学習体験を実現することが求められます。教師のみなさんは、iPadを学びに活かすための4つの要素にそって学習体験をデザインすることで、生徒たちの学びをパーソナルなものにし、学校の授業だけにとどまらず、放課後や家庭でも学び続けるように意欲を高め、さらなる学習成果へとつなげることができます。これからの教育の実現に取り組んでいる自治体や学校では、新しい方法で生徒たちの学習意欲を高め、家庭学習のための教材を保護者に提供できるよう、教師のみなさんを後押ししています。あらゆる関係者がiPadおよびAppleのエコシステムの可能性を理解し、最大限に活用することで、学校でも家庭でも、あらゆる年齢の生徒たちが夢中になって取り組めるパワフルな学習体験を作り出すことができます。

これからの教室

今の時代には、学校でも家庭でも、通学路や街角などでも、いつでもどこからでも学べる教育が求められています。テクノロジーも、あらゆる環境での学びを可能にし、すべての生徒の学習をサポートするものでなければなりません。学習に利用するバーチャルプラットフォームを用意する必要がある場合などには、次のような機能を考慮に入れて検討してください。1つのシステムに絞ることで、生徒や教師のみなさんにとって使いやすくなり、IT担当者のサポートもシンプルになります。

プラットフォーム

新しい学習プラットフォームを選定する際は、教師、生徒、および保護者のみなさんの代表者で構成される検討グループを編成してプラットフォームを試し、フィードバックを集めて、学校やコミュニティに導入する最適な方法を検討しましょう。

デジタルワークフロー

課題の配信、収集、およびフィードバックに使うソリューションを決めます。たとえば、Microsoft 365やGoogle Workspaceを使ってファイルを共有し、[スクールワーク](#)を使って[ClassKit対応アプリケーション](#)内の課題を割り当て、進捗状況を確認できるようにします。

使いやすさ

利用するプラットフォームは操作しやすく、最も重要な情報が優先的に表示され、対象ユーザーが簡単に利用できるものである必要があります。低学年の生徒には、高学年の生徒とは別のインターフェイスや機能の実装が必要になる場合もあります。

授業計画

長期にわたって取り組みを成功させるには、自主性を促すことが不可欠です。生徒たちが自ら時間を管理し、情報を統合して、必要なときには自分からサポートを求めるようになる必要があります。そのためには、そうしたスキルや主体性が育まれるような授業やアクティビティをデザインすることが非常に重要となります。

つなげる

App Storeには、拡張現実(AR)を使ったアプリケーションなど、優れたコンテンツが多数用意されています。教師のみなさんは[スクールワーク](#)を使い、さまざまなアプリケーションを使ったアクティビティを割り当てたり、生徒の進捗状況を確認したりできます。[Safariリーダー](#)、[VoiceOver](#)、[テキストハイライト](#)など、iPadに内蔵されている機能を活用すれば、どの生徒にとっても使いやすい教材を作ることができます。

協働

共同作業をうまく取り入れれば、生徒たちは意欲的に学習に取り組めるだけでなく、お互いに状況を確認しながら助け合えるようになります。[Pages](#)、[Numbers](#)、[Keynote](#)を使うと、生徒と教師のみなさんは簡単にリアルタイムで共同作業をすることができます。また、Appleの翻訳アプリケーションや、Safariの翻訳機能を使えば、母語の違う外国籍の生徒と日本人の生徒とでも、よりスムーズな共同学習が可能になります。

クリエイティビティ

創造性を学びの中心に置くことで、生徒たちの学習意欲をかき立てることができます。iPadはあらゆる学習者を刺激するパワフルな制作ツールで、どのような教科でも新しい方法で学び、つくり、表現できます。[Everyone Can Create](#)の教材を活用し、さまざまな学年や教科の授業にクリエイティビティを取り入れましょう。

パーソナル

自由形式の制作プロジェクトを増やせば、生徒たちの自主性を促し、教師のみなさんも思いつかないような新しいアイデアを生徒たちが模索できる機会が生まれます。また、課題解決型の学びをデザインするには、iPadが最適なツールとなります。Appleの[Everyone Can Create](#)と「[コードを教える](#)」では、生徒たちが自分で取り組める学習のアイデアを紹介しています。ぜひ参考にしてください。[Apple Teacherプログラム](#)にも、こうした授業をデザインするために役立つヒントが揃っています。

個別最適化された指導

今日の世界では、生徒たちが教師のみなさんによる指導のもと、自分なりの学び方を考えられる場所を作ることが、これまで以上に重要になります。Apple製品に組み込まれている[アクセシビリティ](#)機能を利用すれば、あらゆる生徒が学べる環境を作り、発展させて、個別最適化された指導と学習を実現できます。

アクセシビリティ

生徒たちにより自主的に取り組んでもらうには、そのためのツールを用意する必要があります。すべてのApple製品に組み込まれている[アクセシビリティ](#)機能は、特別な支援が必要な生徒だけでなく、誰もが学びに活用できるツールです。生徒がそれぞれのiPadを自分が使いやすいように設定する時間を設けている例も多くあります。

発展可能な学び

学習の進みが速い生徒にもっと難しいことに挑戦させ、学びを深めてもらうには、複数の種類のクリエイティビティを取り入れるとよいでしょう。たとえば、iMovieでビデオを作成した場合に、そのビデオで使う曲をGarageBandで作曲すると、生徒たちのクリエイティブな思考を刺激できます。

選択肢を用意する

生徒たちが学習し、学んだことを表現する際に、自分に合った方法を選べるようにすると、自信と主体性が育まれるため、長期的な学習意欲を高めることができ、将来の成功につながります。

評価

まずは生徒の心身の健康や意欲といった直近の優先事項から始め、そこから広げていきましょう。生徒たちのやる気を引き出し、学習の進捗状況について理解を深めることができる、新しい評価方法を考えます。Appleの提供する製品、ツール、プログラムや教材が、新しい方法で生徒たちの学びを評価するために役立ちます。

ポートフォリオ

さまざまな種類の評価や測定、および観察方法、そして生徒たちの成果物を用いて、学習の進捗状況や理解度を評価しましょう。たとえば、生徒たちにPagesでテキストやマルチメディアファイルを使ったポートフォリオを作成してもらい、それをブックとして書き出して保存し、共有している学校もあります。

ルーブリック

ルーブリックを使うと、制作物や成果物のポートフォリオを、取り組み内容や教育目標の観点で評価しやすくなります。また、生徒たちに学んだことを振り返って自己評価してもらい、自主性を伸ばすのにも役立ちます。

共同作業

グループに参加してほかの生徒たちと一緒に取り組めるような、柔軟な学習環境を作ることが大切です。

場所にとらわれない学習環境

これからの学びは、あらゆる場所で取り組めるものでなくてはなりません。自主的に、好奇心の赴くまま、生涯を通じて学ぶ姿勢を生徒たちに身につけてもらうには、家庭でも教室と同じように取り組めるツールを提供することが重要です。

家庭で学ぶ生徒を指導する

スクールワークやクラスルームアプリケーションを使えば、教師のみなさんはどこからでも、生徒に課題を割り当てて、各生徒の進捗状況を確認し、指導することができます。持ち帰り学習などによって、家庭でも学校でも同じデバイスを使って取り組めるようにすることで、場所や環境にかかわらず、一貫した学びを実現することができます。

生徒たちをサポートする

生徒たちが質問したり、マンツーマンで面談を受けたり、グループで取り組んでいるときにサポートを求めたりできる機会を作りましょう。スクールワークを利用すれば、教師のみなさんは課題ごとの生徒の進捗状況や提出物を、iPadからすべて確認できるようになります。各生徒の取り組み状況を確認できるので、それぞれのニーズに合わせて指導方法を調整することもできます。App Storeで提供されているさまざまなアプリケーションを生徒と一緒に利用することを検討してもよいでしょう。

保護者と連携する

教師のパートナーとしての役割を保護者のみなさんに理解してもらい、連携して生徒たちの学習をサポートできる環境を作りましょう。家族全員で楽しみながら取り組めるリソースやアプリケーションを使うことで、保護者のみなさんも家庭で優れた学習体験を簡単に生み出すことができます。たとえば夏休みなど学校が休みの期間中でも、「[生徒の学びを深めるiPadのヒント30](#)」を活用すれば、iPadによる学習をサポートすることができます。また、4歳程度からの子どもたちを対象にした「[キッズのためのクリエイティブなアクティビティ30](#)」と「[続・キッズのためのクリエイティブなアクティビティ30](#)」では、iPadまたはiPhoneで楽しみながら取り組める創造性あふれる活動を紹介しています。

活発な学び

生徒たちが学んだり課題に取り組んだりするときに、常に静かに座っているとは限りません。iPadを使うと、自由に動きながら、学び、表現できることを保護者のみなさんに伝えましょう。

オフラインで取り組む

iPadはインターネットに接続しなくても使えるので、接続状況が悪い場合でも、生徒たちは必要なすべてのツールを使うことができます。

連絡を常に取り取る

生徒たちが取り組んでいる内容や、到達目標として期待されていることを保護者のみなさんが把握できる機会を用意してください。生徒たちに負担をかけすぎているか、ストレスを感じていないか、必要に応じて保護者に確認しましょう。

教師の生産性

教師のみなさんが心身の健康を保ち、生産性を向上するには、作業効率を高められるようサポートする必要があります。指導、コミュニケーション、セルフケアに使う時間のバランスがどうあるべきかを明確にしましょう。事務的な作業を減らし、ほかの優先度の高いタスクに時間をかけられるようにする方法を考えてください。教師のみなさんが新しい授業の計画に集中できるよう、利用できるサポートシステムがあれば周知しましょう。Appleでは、教師のみなさんがiPadを使って日々の作業効率を高め、授業や準備をスムーズに進める方法も紹介しています。

教材

教師のみなさんが新しい授業を計画し、実践できるようサポートするには、優れた教材を用意して、作業時間を削減できるようにしましょう。新しいツールやサービスの導入を検討する際のガイドライン(プライバシーに関する検討事項など)を提示し、教師のみなさんが新しいことを簡単に試せるよう、授業で使用したいアプリケーションをリクエストするプロセスを確立してください。

教材

自主的な学習をサポートする新しい教材を取り入れながら、同時に既存の教材をこれまでとは異なる形で活用する方法を検討しましょう。Appleの[Everyone Can Create](#)や「[コードを教える](#)」といったプログラムは、毎日の授業に新しい学習方法を取り入れて、生徒たちの学習意欲と自主性を高められるようにデザインされています。

アプリケーション

[Pages](#)、[Keynote](#)、[Numbers](#)、[iMovie](#)、[GarageBand](#)など、Apple製のアプリケーションは、学習効率を高め、クリエイティビティを育むために役立ちます。インターネットに接続していない状態でも使えるので、どこにいても作業に取り組みます。ほかにも、App Storeには指導と学びのために作られた数多くのアプリケーションが用意されています。[教師のみなさんのためのアプリケーション](#)や、[ClassKit対応アプリケーション](#)のコレクションをぜひご覧ください。生徒が夢中になって取り組める学習体験を生み出せるよう、[Apple School Manager](#)でこうしたアプリケーションを教師のみなさんに配付しましょう。

まずはここから始めてみましょう：教育委員会向け

テクノロジーの可能性を理解し、自治体が管轄する各学校で取り組んでもらいたい具体的な学びのイメージを提示しましょう。学習に活用する共通のプラットフォームやアプリケーションを選定したり、[持ち帰り学習](#)などについてガイドラインを設けることを検討してください。

まずはここから始めてみましょう：学校のリーダー向け

新しい学習体験をデザインするために役立つテクノロジーやリソースを理解し、教師のみなさんがそれらを活用できるようサポートしましょう。新たにツールやサービスなどの導入が必要な場合は、教育委員会に協力を求めてください。